FOMA®SO902iWP+
データ通信マニュアル

■データ通信マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA SO902iWP+でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、「SO902iWP+通信設定ファイル(ドライバ)」のインストール方法などを説明しています。

■Windowsの操作について

本マニュアルは、Windows Vistaに対応した内容となっております。

'07.6 (1版)
A-CS5-100-**01**(1)

データ通信について

FOMA端末で利用できるデータ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末はIP接続には対応していません。
- FOMA端末をドコモのPDA「sigmarionⅡ」/「sigmarionⅢ」/「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarionⅡ」/「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて通信料がかかる通信形態です。（受信最大384kbps、送信最大64kbps）
パケット通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」など、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントをご利用ください。また、FOMAネットワークに接続された企業内LANにアクセスし、データの送受信をすることもできます。

- パケット通信は、画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

接続している時間に応じて、通信料がかかる通信形態です。（通信速度64kbps）
64Kデータ通信は、FOMA端末とFOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってパソコンと接続し、各種設定を行うと利用できます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」などのFOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントをご利用ください。

- 64Kデータ通信は、長時間通信を行うと、通信料が高額になりますのでご注意ください。

データ転送

赤外線通信、FOMA USB接続ケーブル（別売）を使ってデータを送受信する、課金が発生しない通信形態です。赤外線通信では、FOMA端末またはパソコンなど赤外線通信機能を持つ機器とデータを送受信することができます。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料金

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」/「mopera」をご利用いただけます。
「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要（有料）となります。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。

接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS 64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、インターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのインターネットブラウザでFirstPass対応サイトを利用するときのアクセス認証で、FirstPass（ユーザー証明書）が必要な場合、付属のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定を行ってください。詳細はCD-ROM内の[FirstPassPCSoft]フォルダ内の「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます。（別途通信料がかかります）
詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うためには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)を利用できるパソコンであること
- FOMAパケット通信、64Kデータ通信に対応したPDAであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先がFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑している、または電波状態が悪い場合は通信ができないことがあります。

ご使用になる前に

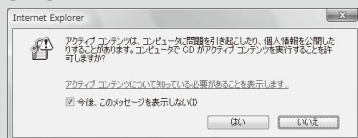
動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は以下のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 • USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1準拠)
OS※1	Windows Vista(日本語版)
必要メモリ※2	Windows Vista：512MB以上
ハードディスク容量※2	5MB以上の空き容量
ディスプレイ	High Color (65,536色)、解像度800×600ドット以上を推奨

※1 OSアップグレードからの動作は保証の対象外となります。

※2 必要メモリ・ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

● CD-ROMをパソコンにセットすると、下記のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。
[はい]をクリックしてください。

必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に以下のハードウェアを使います。

- FOMA USB接続ケーブル(別売)、またはFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01(別売)

● 本マニュアルでは、FOMA USB接続ケーブル(別売)の場合で説明しています。

● USBケーブルは専用の「FOMA USB接続ケーブル」または「FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01」をお買い求めください。パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。

■ 用語解説

● 管理者権限

Windows Vistaのシステムのすべてにアクセスできる権限。1台のパソコンに最低1人は管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、管理者権限を持たないユーザーは、通信設定ファイル(ドライバ)のインストールができません。管理者権限の設定については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。

● OBEX(Object Exchange)

データ通信の国際規格の1つ。OBEXに対応した携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データを送受信できます。

データ通信の準備と流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

パソコンとFOMA端末を接続する（P.3）

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする（P.4）

インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する（P.4）

FOMA端末に付属の取扱説明書の「データ通信の準備と流れ」を参照する

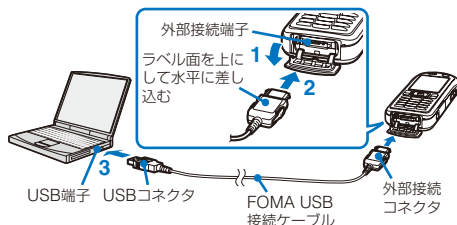
パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。

1 外部接続端子カバーを開ける

2 FOMA端末の外部接続端子にFOMA USB接続ケーブル（別売）の外部接続コネクタを「カチッ」と音がするまで差し込む

3 パソコンのUSB端子にFOMA USB接続ケーブルのUSBコネクタを接続する

パソコンとFOMA端末が接続され、FOMA端末に「」が表示されます。

■ 取外しかた

1 FOMA USB接続ケーブルは必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜く

FOMA USB接続ケーブルを取外すと、FOMA端末の画面から「」が消えます。

2 パソコンのUSB端子からFOMA USB接続ケーブルを引き抜く

- データ通信中にFOMA USB接続ケーブルを取外さないでください。故障などの原因となります。
- FOMA端末に表示される「」は、通信設定ファイル（ドライバ）のインストール前には表示されません。

通信設定ファイル(ドライバ)をインストールする

FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)を使って接続し、データ通信を行うには、ドコモのホームページから通信設定ファイル(ドライバ)をダウンロードし、インストールしてください。

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。
- ユーザーアカウント制御画面は、パソコンの設定によっては表示されません。
- インストール中にFOMA USB接続ケーブル(別売)を取外さないでください。
- 電池残量が少ないFOMA端末を使用する場合は、卓上ホルダ(別売)などを使用し、充電しながらインストールすることをおすすめします。
- すでに通信設定ファイル(ドライバ)がインストールされているパソコンに再度インストールする場合は、必ずアンインストールしてから行ってください。

1 **ドコモのホームページ(http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/announce/info4.html)に接続し、SO902iWP+通信設定ファイル(ドライバ)をダウンロードする**

2 **FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブルで接続する**

ドライバのインストールウィザード画面が表示されます。

3 **[ドライバソフトウェアを検索してインストールします(推奨)]をクリックする**

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

4 **[続行]をクリックする**

「新しいハードウェアの検出 – FOMA SO902iWP+」画面が表示されます。

5 **[オンラインで検索しません]をクリックする**

- パソコンの設定によっては、この操作は省略されます。操作6に進んでください。

6 **[ディスクはありません。他の方法を試します]→[コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します(上級)]をクリックする**

7 **[参照]をクリックし、操作1でダウンロードしたファイルを含むフォルダを選び、[OK]をクリックする**

8 **[次へ]をクリックする**

9 **[閉じる]をクリックする**

10 **すべてのドライバがインストールされるまで、操作5~9を繰り返す**

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

SO902iWP+通信設定ファイル(ドライバ)が正しくインストールされていることを確認します。

- FOMA端末とパソコンをFOMA USB接続ケーブル(別売)を使って、あらかじめ接続しておいてください。

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[システムとメンテナンス]→[デバイスマネージャ]をクリックする**

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

2 **[続行]をクリックする**

3 **各デバイスをクリックし、インストールしたドライバ名を確認する**

デバイスの種類	ドライバ名
ポート(COMとLPT)	• FOMA SO902iWP+ Command Port • FOMA SO902iWP+ OBEX Port
モデム	• FOMA SO902iWP+
ユニバーサルシリアルバスコントローラ	• FOMA SO902iWP+

- COMポート番号は、お使いのパソコンによって異なります。

通信設定ファイル(ドライバ)をアンインストールする

- パソコンの管理者権限を持ったユーザーでアンインストールしてください。
- アンインストール開始前にパソコンからFOMA端末を取外してください。

1 **[スタート]→[コントロールパネル]をクリックし、[プログラムのアンインストール]をクリックする**

2 **[FOMA SO902iWP+ USB]を選び、[アンインストールと変更]をクリックする**

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

3 **[続行]をクリックする**

削除確認画面が表示されます。

4 **[はい]をクリックする**

通信設定ファイル(ドライバ)のアンインストールを開始します。

5 **[OK]をクリックする**

● [so902wun.exe]をダブルクリックしてアンインストールすることもできます。画面の指示に従って操作してください。